

WICKED

by ステージ BPJ

ステージ BPJ が作り上げたミュージカル「WICKED」これは誰も知らない「オズの魔法使い」のもう一つの物語、エピソード 0。



STORY

人間も動物も同じように言葉を話し、共に生きている国で平和に過ぎ去っていく時。
けれども、あたたかく平和な時がいつまでも続くことはない。
動物たちは言葉を失っていく…。

オズの国に新しい命が生まれた。
その赤子エルファバの肌は緑色だった。
学校に通い出したエルファバは、美人で人気者のお嬢さまグリンダと出会う。
お互いを嫌う二人。
けれど、偶然と誤解が二人を変える。
二人の間に芽生える友情。
育まれていく絆。

そんな折、エルファバは言葉を失う動物たちを救うため、グリンダと共にオズを訪ねる。
しかし、オズは魔法など使えない。
真実を知り、国を追われ悪い魔女となるエルファバと、良い魔女となるグリンダ。
やがて、再会する二人の魔女。
そして二人は約束する。
悪い魔女の物語を終わらせ、平和を取り戻すことを。
やりたいことを、大切な想いを受け継ぐことを……。



▲エルファバとグリンドはお互いが嫌い。
その気持ちを歌として歌う。それがミュージカル。



▲◀フィエロが現る!!彼は「勉強しないと！」というグリンドたちに「採点なんてされない人生を歩こう！」と歌う。



◀ふとしたことで仲良くなったエルファバとグリンド。ふたりはともにオズがいるエメラルドシティへ！
▶フィエロはエルファバに手を貸し、しゃべれぬ動物を助ける。



▼歌の度に伴奏もピアノで演奏しています。



女として手配されてしまう一方、



◀オズの元から逃げたエルファバは悪い

グリンドは良い魔女に担ぎ上げられる。
◀逃亡中のエルファバと再会したフィエロ。「やっと会えた。」というフィエロの心にはエルファバに対する特別な感情が芽生えていた。



悪い魔女の物語を終わらせることを二人は約束する。



「親友になってくれて、最高の結末だったと信じるわ…」



PJ長へインタビュー！

— 感想を

一人一人が輝ける皆で作りに上げた劇だった！

— 嬉しかったことは？

皆から沢山「すごかった」と言われたこと。

— 来年頑張る後輩に一言！

思い切りやってね!!

毎年、高い歌唱力に圧倒されるステージ BPJ のミュージカル。今年もその歌唱力は健在でした。一人で歌っても体育館に響き渡る声。逆に全員で歌うと綺麗にそろいながらも、個々の声も際立つ声。本物のミュージカルに勝らずとも劣らぬ歌です。また、演技もすごいのがステージ BPJ。聞き取れないセリフが全くない発声の完璧さもやはり、プロのミュージカルのようにです。今年は、観客へのサービスも多く見られました。ステージから降り、観客席を駆け抜けていくという演出はもちろん、客席で歌い、踊るというシーンも多く、客席から手を伸ばせば、触れるほど近くで劇が見られました。ステージ BPJ は歌を支える伴奏も全てピアノによる生演奏です。主役の歌声と共に美しいハーモニーを奏でる音色も大きな見どころでした。

来年のステージ BPJ は何を演じるのでしょうか。どんな歌を誰が歌ってくれるのでしょうか。これまで劇を作ってきた一員である三年生は卒業し、来年はまた新たなメンバーで劇を作ります。一年一年、メンバーが変わり新しさが生まれるミュージカル、来年も楽しみです。